

令和 5 年度

法人本部 事業報告



社会福祉法人英伸会

社会福祉法人英伸会 役員表

(法人設立認可 平成 16 年 8 月 25 日) (法人登記 平成 18 年 9 月 1 日)

〒302 - 0125 茨城県守谷市高野字二重堀 1755 - 1

TEL : 0297 - 45 - 3580 FAX : 0297 - 45 - 2983

<https://eishinkai-group.or.jp> E - mail : info@eishinkai-group.or.jp

理	事	長	中 山	通 子
理		事	中 山	英 雅
	〃		小 川	一 成
	〃		石 澤	成 浩
	〃		村 田	昌
	〃		菊 地	孝 雄
評	議	員	藤 吉	武 郎
	〃		滝 本	勝 夫
	〃		上 林	文 雄
	〃		小 菅	睦 子
	〃		齋 藤	美 恵 子
	〃		唯 根	弘
	〃		小 杉	紀 子
監		事	松 丸	美 恵 子
	〃		比 前	静 代

○任期

理事・監事：令和 5 年 6 月 15 日～令和 7 年の 6 月定時評議員会終結の時まで

評 議 員：令和 3 年 6 月 10 日～令和 7 年の 6 月定時評議員会終結の時まで

【役員総数】	理事	6 名
	監事	2 名
	評議員	7 名

1. 理事会・評議員会の開催について

【理事会・評議員会報告】

開催日	会議名	議案・報告の内容
令和5年 5月25日	理事会	○議案 1. 令和4年度事業報告について 2. 令和4年度決算について 3. 次期理事及び監事候補者の選任について 4. 定時評議員会の開催について 5. 諸規程の改正について ○報告事項 1. 業務執行理事報告 2. 七福神祭りの開催について
令和5年 6月15日	評議員会	○議案 1. 令和4年度事業報告について 2. 令和4年度決算について 3. 次期理事及び監事の選任について ○報告事項 1. 七福神祭りの開催について
令和5年 11月9日	理事会	○議案 ○報告事項 1. 業務執行理事報告（上半期報告） 2. 七福神祭りについて 3. 永年勤続者表彰について
令和5年 11月30日	理事会	○議案 1. 経営報告 ○報告事項 1. 業務執行理事報告（上半期報告）

令和 6 年 1 月 22 日	理事会	○議案 第 1 号議案 施設長人事について 第 2 号議案 理事候補者の選任について 第 3 号議案 評議員会の開催について ○報告事項
令和 6 年 1 月 26 日	評議員会	○議案 第 1 号議案 施設長人事について 第 2 号議案 理事の退任に伴う後任理事候補者の選任について
令和 6 年 2 月 29 日	第 三 者 委 員 会	令和 5 年度内に、当施設に寄せられた苦情や要望について報告
令和 6 年 3 月 28 日	理事会	○議案 1. 令和 5 年最終補正予算について 2. 令和 6 年度事業計画について 3. 令和 6 年度当初予算案について ○報告事項 1. 業務執行状況について報告 2. 第三者委員会について報告

2. 修繕及び保守について

(1) 電気錠制御盤システムの入れ替えについて

令和 4 年度から課題となっていました予算額については見積額揃いました。

約 230 万円相当。(建物の配管・ケーブルの状況で前後する事が予想される)
次年度（令和 5 年）に引継ぎ進めたいと思います。

(2) 空調設備の保守について

令和 4 年度と同じく保守契約は行わず、施設側で管理（フィルター清掃）しております。

清掃については、エアコン室内機は年 2 回を目標に、室外機は年 1 回の目視での点検を行っていました。今後も稼働が増える夏や冬の前に定期的に清掃してまいります。また換気扇の清掃についても業者に依頼する箇所と自分達で行える箇所を明確にして、節約に努めて参ります。

(3) 働きやすい環境づくり・人員の定着・確保について

①人員について

令和 5 年度は費用を抑えるべく、ハローワークを利用しての求人募集やホームを小まめに更新する事で少しでも差を出す努力をしてまいりました。

しかし、社会全体がエージェント会社を利用しての転職が一般的になりつつある状況において苦戦した 1 年間でした。又、転職（常勤勤務）せずに派遣での勤務を希望する現象が生じております。委員会への所属が負担に感じているとの印象です。

対策としては施設の魅力を発信する手段として、①ホームページの更新の迅速化 ②施設内外での行事（レク活動）の充実 ③PC の利用から携帯へ変わるデバイスへの対応。（画像の工夫：横から縦への閲覧方法）

今後も人材（人財への育成）の採用については最重要課題として取り組んで参ります。

令和 5 年度に入職された職員は 14 名で（令和 4 年度は 13 名）、退職された職員は 15 名（令和 4 年度は 16 名）となっております。

②有給休暇の取得

有給休暇については昨年に続き取得率を上げるために勤務シフトを作成しました。

全体的には管理職の取得率が低い傾向にあり、この点は常勤者・非常勤者にも見られる傾向でした。有意義な有給取得が取得できるよう今後も進めてまいります。

③福利厚生

令和 5 年度は新人職員歓迎会等の集合行事は開催する事は出来ませんでした。（感染対策）

年度の途中に新型コロナウイルス感染症も 5 類に分類されましたので、これからは職員ファーストで福利厚生活動を行います。

○法人全体の職員数（実人数）

<単位：人>

	R 5	R 4	比較
介護職員	19 (16)	21 (20)	△3 (△4)
介護助手	1 (3)	1 (5)	0 (△2)
看護師	5 (2)	5 (2)	0 (0)
機能訓練指導員	3 (2)	3 (2)	0 (0)
相談員・介護支援専門員	8 (0)	8 (0)	0 (0)
管理栄養士	2 (0)	2 (0)	0 (0)
事務員	1 (1)	3 (1)	△2 (0)
洗濯係	0 (4)	0 (4)	0 (0)
清掃係	0 (3)	0 (3)	0 (0)
運転手・洗車	0 (1)	0 (2)	0 (△1)

※（ ）内は非正職員の人数になります。

※ 技能実習生の他、シルバー人材等の派遣も含みます。

※ 年度末での比較を行っております。

3. 水道光熱費・介護用品費・その他について

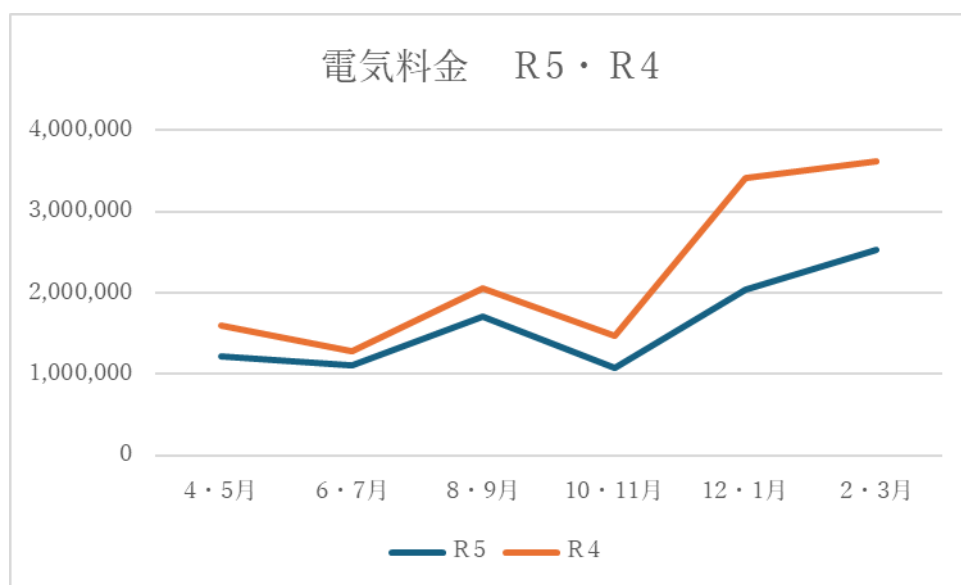
(1) 水道光熱費（電気料金・ガス料金・水道料金）

① 電気料金

昨年比で 3,771 千円の削減となりました。

暖冬の影響もありますが、職員の節電の意識で大きな削減が達成できました。特に、昨年 11 月から 3 月にかけての冬季に費用を下げられたことが大きな要因です。

日々の節電意識を高め、使用量の削減に努めてまいります。



○電気料金

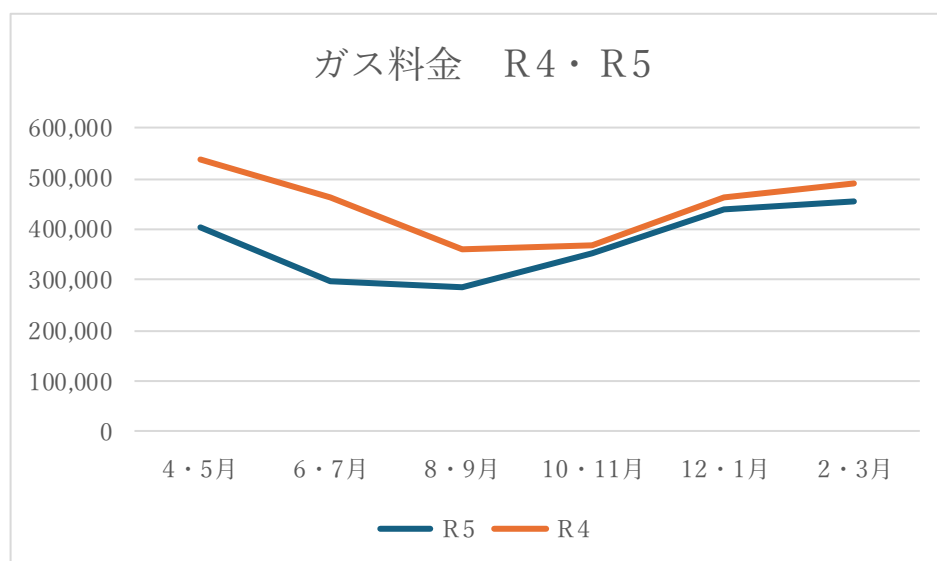
<単位：円>

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	927,649	1,072,887	1,710,997	1,084,635	2,041,303	2,523,741	9,361,212
R4	1,594,205	1,288,856	2,060,486	1,477,936	3,417,021	3,625,572	13,464,076
差額	△ 666,556	△ 215,969	△ 349,489	△ 393,301	△ 1,375,718	△ 1,101,831	△ 4,102,864

② ガス料金

昨年比 451 千円の削減ができました。

ショートステイが新型コロナウイルス感染症により規模を縮小した事もありますが、職員のコスト意識により削減できた成果であると考えております。



○ガス料金

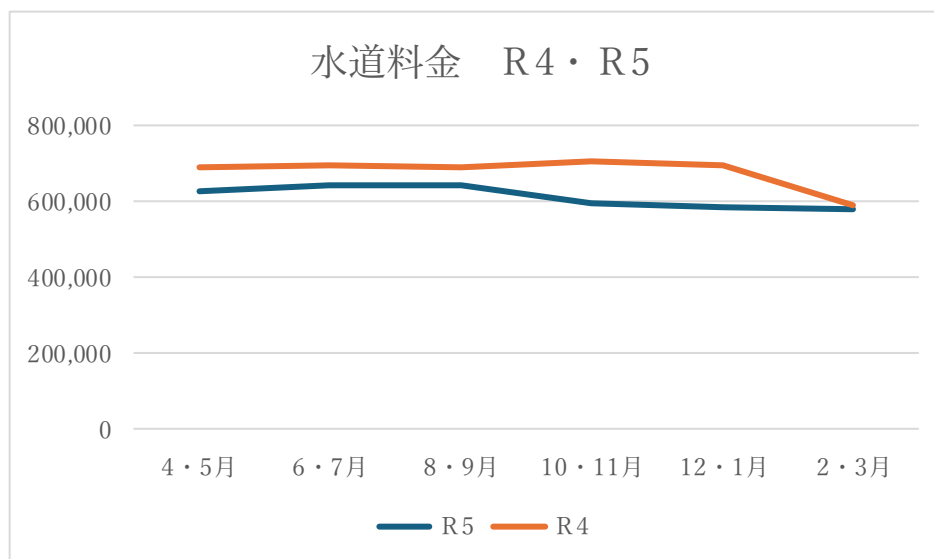
<単位：円>

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	405,833	299,038	284,568	352,436	439,727	454,221	2,235,823
R4	538,255	461,953	361,474	370,803	461,917	492,880	2,687,282
差額	△ 132,422	△ 162,915	△ 76,906	△ 18,367	△ 22,190	△ 38,659	△ 451,459

③ 水道料金

昨年比で **392** 千円の削減が出来ました。

ショートステイが新型コロナウイルス感染症により規模を縮小した事もありますが、職員のコスト意識により削減できた成果であると考えております。



○水道料金

<単位：円>

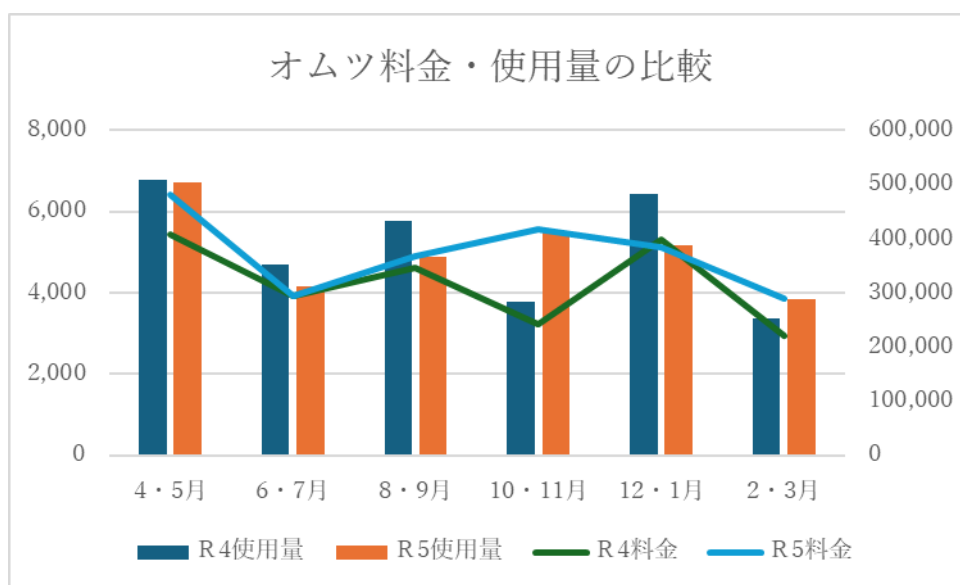
	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	629,902	646,032	642,724	597,228	587,302	581,925	3,685,113
R4	689,874	695,251	693,184	709,728	694,838	594,333	4,077,208
差額	△ 59,972	△ 49,219	△ 50,460	△ 112,500	△ 107,536	△ 12,408	△ 392,095

(2) 介護用品費

昨年比でオムツが使用量はマイナス 576 枚となっておりますが、支払い金額で 325 千円のアップとなっております。

使用方法等を工夫しましたが納入原価のアップによる支出増を相殺するまでには至りませんでした。

今後も、利用者さんの快適性を保ちながら削減に努めて参ります。



○使用量 オムツ

＜単位：枚＞

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R 5	6,720	4,168	4,892	5,480	5,164	3,860	30,284
R 4	6,784	4,712	5,788	3,780	6,424	3,372	30,860
差額	△ 64	△ 544	△ 896	1,700	△ 1,260	488	△ 576

○料金 オムツ

＜単位：円＞

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	481,580	294,052	367,268	416,680	385,000	290,620	2,235,200
R 4	407,520	293,880	347,580	241,380	398,040	221,220	1,909,620
差額	74,060	172	19,688	175,300	△ 13,040	69,400	325,580

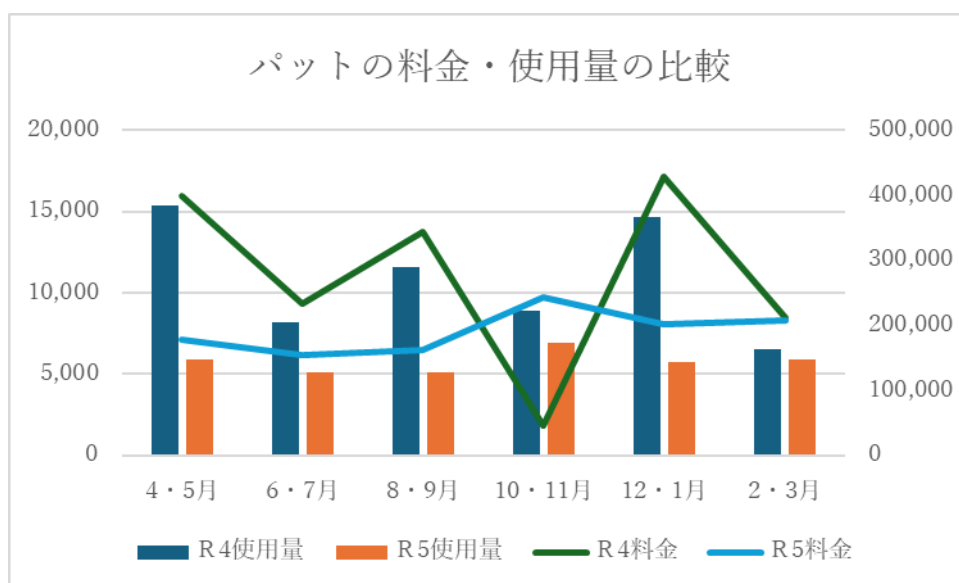
昨年比でパット使用量はマイナス 30,460 枚となっておりますが、支払い金額においてもマイナス 722 千円となっております。

こちらの方は使用方法を工夫した内容が数字となって表れてります。

R4 年の 10 月・11 月の使用量が落ち込んでおりますが、12 月・1 に上がっております。

年末年始の発注時によるものと推察されます。

利用者さんの快適性を保ちながら継続的な削減に努めて参ります。



○使用量 パット

<単位：枚>

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	5,940	5,148	5,148	6,930	5,742	5,940	34,848
R4	15,398	8,204	11,556	8,892	14,706	6,552	65,308
差額	△ 9,458	△ 3,056	△ 6,408	△ 1,962	△ 8,964	△ 612	△ 30,460

○料金 パット

<単位：円>

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	合計
R5	178,200	154,440	162,360	242,550	200,970	207,900	1,146,420
R4	399,242	233,542	343,432	45,428	428,700	212,400	1,868,566
差額	△ 221,042	△ 79,102	△ 181,072	197,122	△ 227,730	△ 4,500	△ 722,146

(3) 人件費

昨年比で 23,936 千円の減額となりました。

(資料 2 参照)。①職員給与は 15,797 千円の減少、②職員賞与は 4,092 千円の減少でした。

「介護職員処遇改善加算等」令和 4 年度からは介護士正職員に毎月 2 万円支給し(非常勤職員は勤務時間数×100 円を支給)。残った財源については賞与として支給しておりましたが、今年度の賞与はキャッシュフローから計算した額を支給しました。

派遣にかかる費用が毎年増加しているのは、直接雇用が出来ない構図があります。雇用期間が終了し、次の方が直ぐに勤務できる業種ではありあせんので、派遣依存の体質からの脱却が介護の質・キャッシュフローの面からの喫緊の課題となっております。

資料 2 ○人件費 285,591,993 円 (人件費率 66.6% 昨年 72.7%)

摘 要	R 5 (α)	R 4 (β)	比較 $\alpha - \beta$
人件費	285,591,993	309,528,076	Δ 23,936,083
①職員給与	154,965,058	170,762,435	Δ 15,797,377
②職員賞与	20,941,340	25,034,250	Δ 4,092,910
非常勤職員給与	43,566,640	47,142,272	Δ 3,575,632
派遣職員費	22,553,118	18,003,439	4,549,679
法定福利費他	32,257,699	37,190,680	Δ 4,932,981

(4) その他

	R5 (α)	R4 (β)	比較 $\alpha - \beta$
給食業者管理費	20,307,319	19,622,626	684,693
技能実習生受入関係	716,100	1,404,788	△ 688,688
シルバー人材委託費	3,981,226	5,476,234	△ 1,495,008
ガソリン支出	1,328,250	1,408,180	△ 79,930

① 給食関係については、原材料等の値上げが大きい中でこの範囲で良く収めてくれていると思います。

② 技能実習生は期の途中で退職となり、委託関係の費用も減額となりました。

③ シルバー人材も昨年からの効果が続いておりますが、令和5年度の3,981千円で維持される予想です。

(5) 地域の関わりについて

○地域への貢献及び七福神祭り

令和5年度も新型コロナウイルスの感染対策のため、多くの人が交わる施設見学会や勉強会、七福神祭りなどの開催は見送りました。

1. 居宅介護支援事業所において実習生の受け入れ

コロナ禍でありましたが、感染対策を行い初めて2名の方を受け入れました。

カリキュラム等を作成する事で受け入れ側の自己学習を深める効果もあり、今後も継続していく予定です。

○学生の校外学習及び介護体験学習受入れ

日程	学校名	人数	日数
令和4年11月10～11日	茨城県立医療大学 (作業療法学科)	4名／3年生	2日間

2. ボランティア活動の受入れ

令和 5 年度においても、けやき台・美園地区の方々がボランティア活動でして頂きました。

活動実施日	ボランティア内容	参 加 者 数
毎月第 3 水曜日 (8 月、1 月は無し)	車椅子清掃、花壇や中庭の除草作業、 ユニットや交流ホールの窓清掃など	3～5 名

令和 5 年度

各事業所報告



社会福祉法人英伸会

事業種別・事業所名称

介護老人福祉施設

【特別養護老人ホーム七福神】

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

【ショートステイサービス七福神】

通所介護・介護予防通所介護

【デイサービスセンター七福神】

居宅介護支援事業所

【ケアプランセンター七福神】

1.各事業所の事業報告

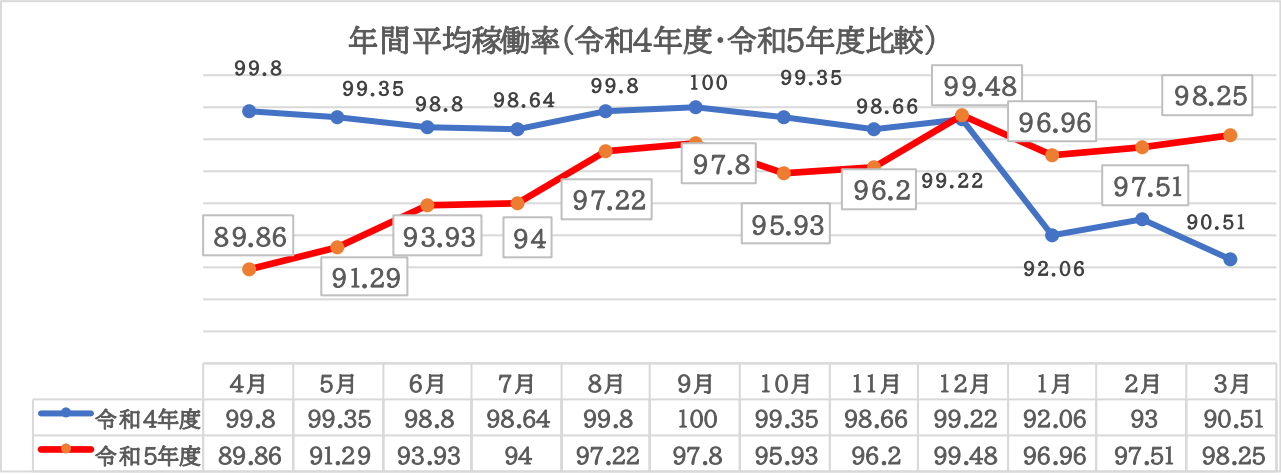
(1)特別養護老人ホーム

① 年間稼働率について

令和5年度の稼働率は、目標の数値に達することはできず年間稼働率平均は95.7%となりました。

◇稼働率低下の要因として考えられること

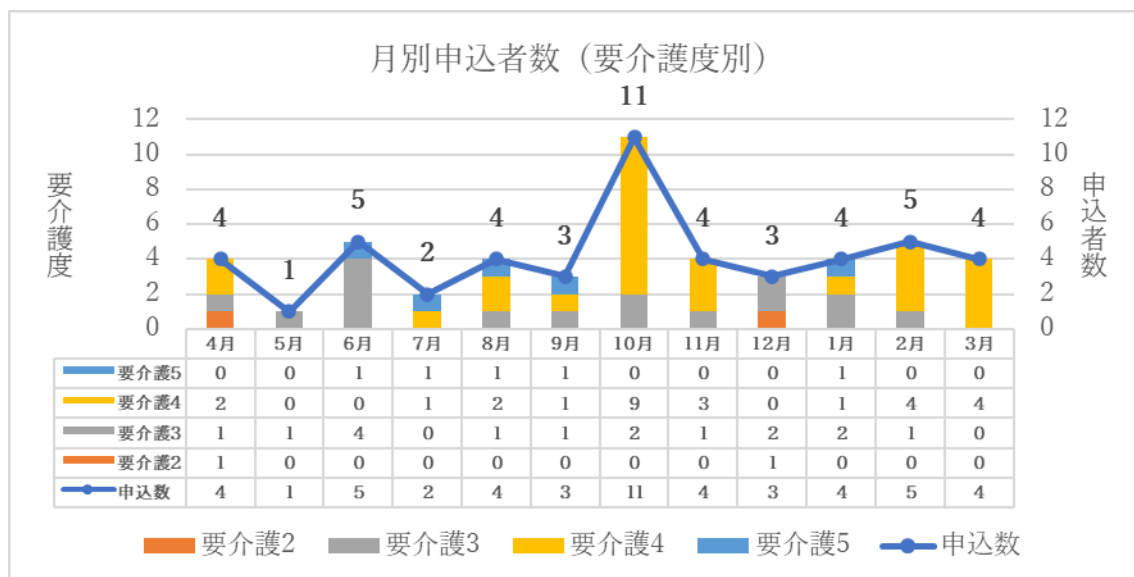
- ・令和5年1月新型コロナウイルスのクラスターによる影響後、介護職員数が足りていない現状もあるため、令和5年1月以降より空床が出て受け入れを一時止める対応をした。
- ・介護職員数の確保が困難であり、45床から50床になるまで数ヶ月間要することになった。
- ・看取り介護となった方が多く、入退所が続き50床の月が5ヶ月間のみであった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
新規入所者数	0	1	2	1	3	2	3	1	2	3	0	3	21
退所者数	1	0	1	1	0	5	0	4	0	2	2	1	17
入所者数	45	46	47	47	50	47	50	48	50	50	48	50	48
介護度平均	4.31	4.26	4.26	4.23	4.16	4.16	4.1	4.07	4.04	4.1	4.06	4.06	4.15

② 入所申し込み数の推移について

令和 5 年度の申し込み者数は 50 名。要介護度別の申し込みは、要介護 4 が 29 名、要介護 3 が 15 名、要介護 5 が 5 名、要介護 2 が 1 名でした。



令和 4 年度の申し込み者数は 22 名であったため、約 2 倍の申し込みがあったこととなります。しかし、申し込まれた方から年度内にキャンセルとなった方が多く、22 名の方が以下の理由で申し込みがキャンセルとなりました。

- ・他特養に入所: 8 名
- ・医療依存度が高く、特養へ入所が難しい: 5 名
- ・死去: 5 名
- ・入所せず現在過ごしている環境の維持: 3 名
- ・介護老人保健施設に入所: 1 名

《今後の取り組み》

入所検討委員会を 3 ヶ月に 1 回定期的に開催、また必要に応じて開催をしてまいります。申し込み者数が少ない時は、近隣病院や居宅介護支援事業所に行くことで関係作りに努めてまいります。

退所後は 1 週間を目安に入所ができるように働きかけを行っていますが、タイミングが合わない時もあります。短期入所に協力をしてもらいながら、空床が利用できるようにしてまいります。また、多職種が協力して入居者の体調管理や早期発見と対応に努めながら日常生活を支援し、入院時は入院期間が短縮できるように医療機関と連絡・調整に努め、安定した稼働が保てるように努めてまいります。

③ 職員の生産性向上にむけて

令和 5 年度は着手することができず情報収集となりましたが、令和 6 年度の介護報酬改定で新設された生産性向上推進体制加算と介護職員等処遇改善加算の要件になりました。そのため、令和 6 年 4 月より新たに委員会を開催しており、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に繋げるよう努めてまいります。

④ 人材育成

各職員が目標を立てて 1 年間業務に就いていましたが、役職者が交代勤務に入ることが多く 3 ヶ月おきの定期面談の日程調整をすることができず、年度末の振り返り面談となりました。また、年度内に施設内の体制が大きく変わったことも大きな影響があり、モチベーションコントロールは困難でした。

⑤ 生活の活性化

令和 5 年 5 月より季節性インフルエンザと同様の扱いとなったため、近隣からの外出や家族との面会の機会を創出できるように努めました。

施設内行事では、行事委員会が中心となり入居者の楽しみに繋がるようレクリエーション活動を実施しました。

・行事委員会の活動報告

「施設内の入居者・利用者の笑顔を絶やさない日常生活を送ることができる」ことを目標に、職員間同士のコミュニケーションを図り、レクリエーションの計画を毎月立案、季節や時期に合わせた色とりどりの催し物を入居者・利用者と共に参加するということを実施しました。

入居者・利用者の誕生月に踊りや歌を披露することで喜んで頂くことができ、職員も一緒に楽しむことで笑顔が多く見られました。

＜全体の振り返り＞

介護職員の採用が困難であり派遣職員に頼らざるを得ない状況で、リーダー以上の役職者が中心に残業・夜勤業務をしています。そのため、日中の勤務帯にいる日が少なく職員の育成に影響は出ています。令和 6 年度も職員の状況は変わっておらず介護の質を上げなければならないという課題はありますが、現状は質を落とさないこと留まっています。

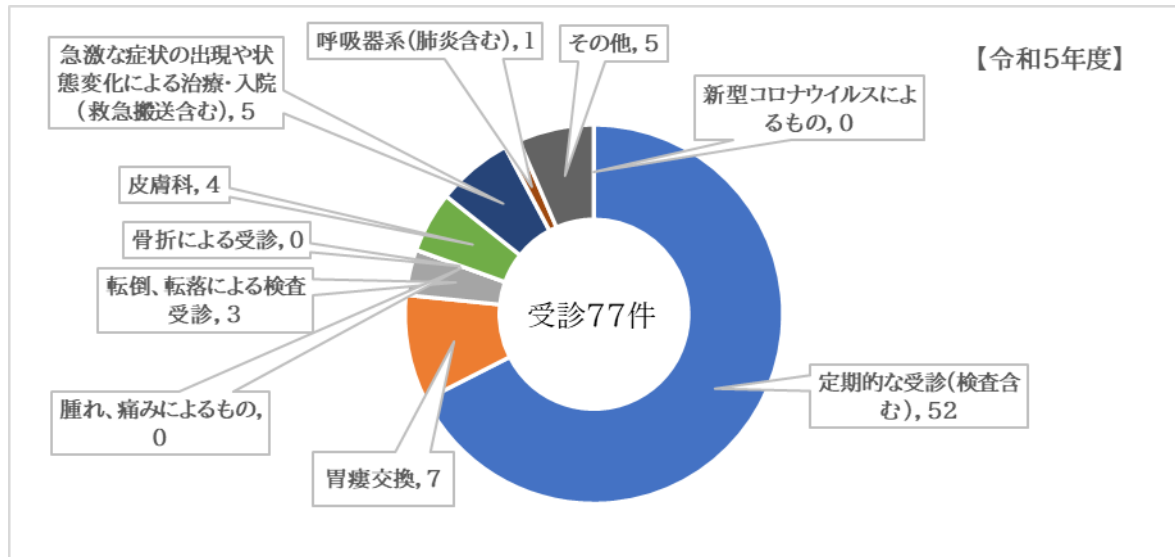
令和 5 年度は単発バイトを活用することで、主に入浴介助に携わってもらっていました。しかし、単発バイトであるため継続性は見込めませんが、定期的に利用する方もいます。その中から 1 名が直接雇用を希望して雇用することになりました。今後、うまくマッチングすれば直接雇用になることも考えられますが、単発バイトを利用する方は主の仕事の休みの日に利用しているため直接雇用までは難しいと考えます。

職員の状況は大きく変わりませんが、現状のケアの質を落とさないようにすること、少しでも介護の質が上がるできるよう職員と協力してまいります。

⑥ 健康管理の対応状況報告

受診状況の報告

令和 5 年度の受診件数は 77 件で、定期的な受診(52 件)と胃瘻交換(7 件)を合わせると 59 件となり令和 4 年度と同様、受診件数の約 2/3 以上は専門性の高い受診でした。



令和 5 年度は、入居者が新型コロナウイルスに罹患することはありませんでした。定期受診が増えている傾向として、入居前からの医療支援が入居後も継続しているためです。そのため、継続した受診が必要な場合は、医療との連携に努めてまいります。

⑦ 看取り介護の取り組み

入居者が尊厳ある最期を迎えられるよう、『看取り介護指針』の理解を深めるために施設内で、看取り介護に対する勉強会を令和 6 年 3 月に実施しました。

令和 5 年度は 12 名の入居者を施設で看取らせていただきました。

今後も、その人がその人らしい最期を迎えることができるよう、看取り期でも日頃の日常と変わらない生活を過ごして頂けるよう努めてまいります。

令和 6 年 4 月末で看取り介護の同意書を 7 名いただいている状況です。

(2)短期入所生活介護(ショートステイサービス)

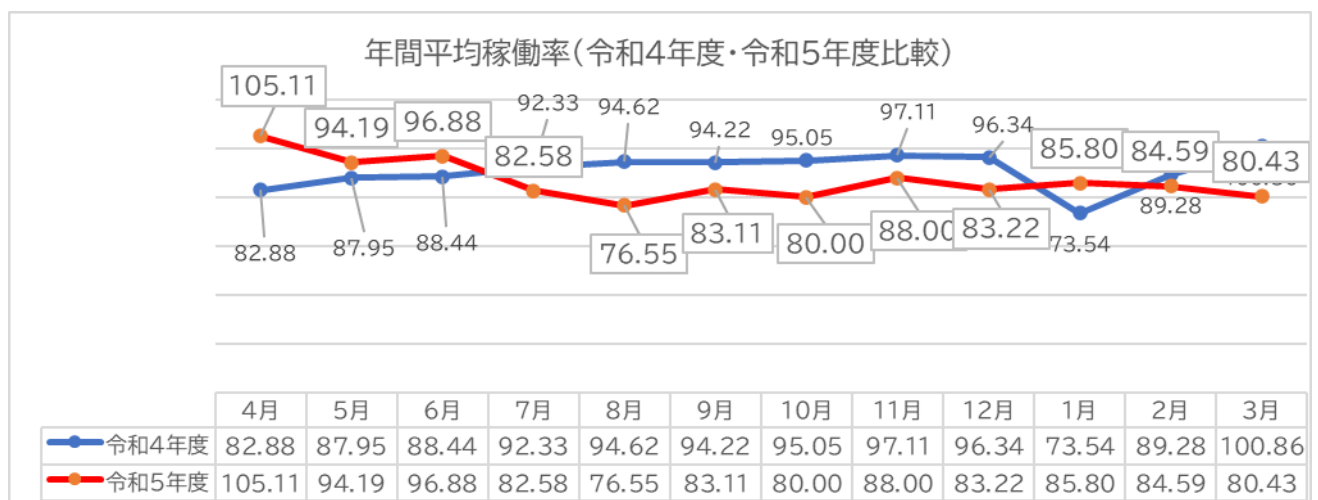
① 年間稼働率について

令和 5 年度の稼働率は年間目標 93%に対して 86.99%と目標を達成することが出来ませんでした。

《目標を達成できなかった要因》

・6 月末に相談員が退職、8 月に常勤の介護職員が 1 名特養に異動となり、職員不足のため稼働率を抑える必要があった。

・入所の待機者を増やすという目的で、ロングショートの人数を例年より増やして対応をしました。ロングショートが入所となった際に稼働率への影響が大きかった。



令和 5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
平均介護度	2.86	2.87	2.89	2.80	2.82	2.90	2.84	2.80	2.81	2.87	2.96	3.11	2.87

《稼働率を上げるために行った取り組み》

・ロングショート利用者が抜けた際、次のロングショート利用者の受け入れができるように居宅介護支援事業所にアプローチを実施。事前にロングショートの問い合わせがあった時に聞き取りをしておくなど事前準備を行った。

・キャンセルが出た時はキャンセル待ちの方へアプローチ、空床情報を居宅介護支援事業所へ知らせるなど早めの動きを意識して実施した。

《新規契約者、問い合わせ等》

年間を通して新規利用者は 28 名(令和 4 年度 27 名)、新規の問い合わせは 75 件(令和 4 年度 84 件)でした。

令和 5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
新規契約者	3	1	8	1	2	5	3	4	2	4	0	1	34
新規利用者	2	1	5	1	2	4	2	2	3	5	0	1	28
問い合わせ	5	7	5	5	6	5	10	9	9	4	5	5	75

問い合わせの人数は前年度より若干減りましたが、契約・新規利用は前年度とほぼ同数でした。ロングショート利用者の人数を増やし、稼働を抑えて調整した影響で月間の利用者数自体は前年度より減っている状況です。

② 職員の育成

【ユニットリーダー】

《結果と課題》

結果：リーダーとして職員の模範になれるよう指導を実施した。ユニット内の問題に対して、積極的に行動しており、ユニット内だけでなく施設内でも積極的に意見を述べる意識がついた。

課題：勤務調整などで、リーダーに負担がかかっている。

【ユニット職員】

《結果と課題》

結果：レクレーションや活動の担当を割り振ることで週に 1 回はレクレーションや活動を実施して利用者に楽しんで過ごしてもらうことができた。

課題：日々の業務では職員のできることにバラつきがあるため、各々が自分のできることを積極的に行動に移すことができていない。

【相談員】

《結果と今後の取り組み》

結果：施設サービス計画書や介護支援専門員への報告書の様式を見直すことで業務の効率化を図ることができた。

課題：稼働率を意識しながら臨機応変に受け入れができるように育成を進めていましたが、6 月末で退職。後任が 6 月末に入職しましたが、自己都合により 10 月末で退職。令和 6 年度 4 月から相談員が特養より異動となったので育成に努めてまいります。

《全体の振り返り》

令和 5 年度は前年度に比べれば感染症による影響も少しは落ち着いていたため、以前のように外出などの機会を増やしていきながらサービスの提供に努めてまいりました。職員の勤務状況では変則勤務を出来る職員が少なく、時間帯や曜日によって職員人数にバラつきが目立っていました。人員配置のことも考慮しながら稼働を調整する必要性がありました。令和 6 年度は職員やロングショートの状況を考慮しながら、定期利用者を増やして稼働率を安定させられるよう努めてまいります。

(3)通所介護(デイサービス)

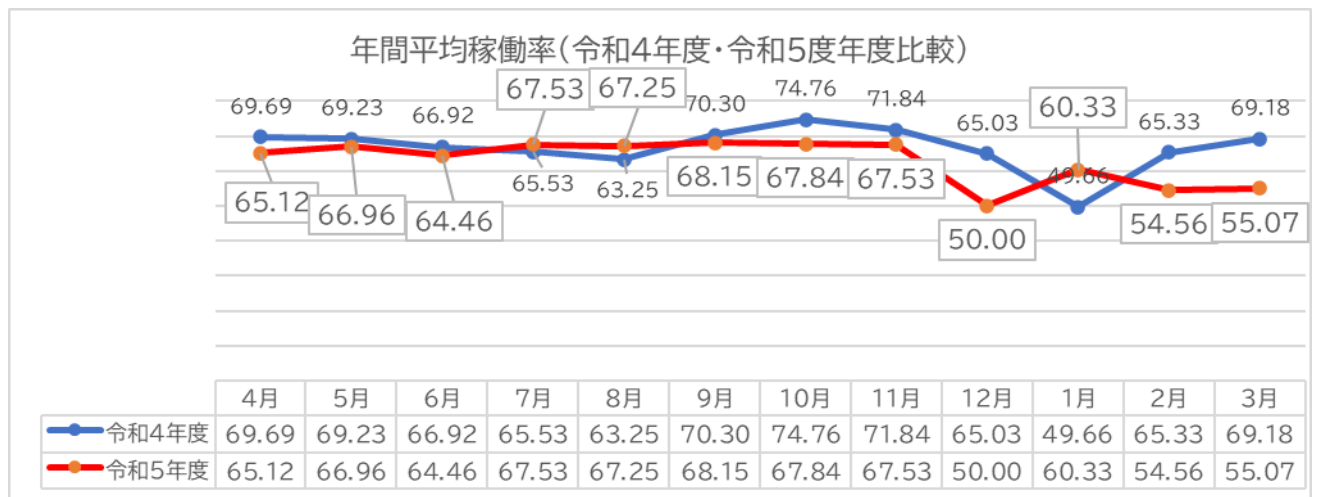
① 年間稼働率について

令和5年度は年間平均75%を目標にしていたのですが、62.9%と目標達成することができませんでした。

《目標達成が出来なかった要因》

- ・介護職員の不足により、受け入れ人数を増やすことができなかった。
- ・定期利用者の状態変化で以前に比べて介護量が増えてしまい、入浴や排泄の介助にかかる時間が増えていました。また、12月頃から入院や施設入所が増え、利用終了となる利用者が3月頃まで続いてしまい、定期利用者数が減ってしまった。
- ・12月中旬頃、コロナ感染症により利用者5名と職員3名が陽性と診断され、その他、診断はされていないが症状が出ている方が複数人いた。

12月19日～12月24日まではどうしても自宅で過ごせない方のみに利用の受け入れを制限しました。12月25日から営業を再開しましたが、陽性となった職員の回復が遅れていたこともあり、稼働率に大きく影響した。



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
平均介護度	1.88	1.88	1.87	2.08	2.04	2.10	2.15	2.09	2.05	2.01	1.95	1.96	2.01

《新規契約者、問い合わせ等》

新規契約者は14名(令和4年度25名)でした。

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
新規契約者	0	1	1	2	3	2	0	1	1	2	1	0	14
新規利用者	0	0	2	2	3	2	0	1	1	2	1	0	14
体験利用	0	0	1	4	3	2	1	1	0	1	2	0	15
見学	0	1	2	3	1	2	1	1	0	0	0	0	11
キャンセル	42	36	34	48	71	38	36	36	124	51	59	39	614

② 運動クラブの取り組み

＜取り組みと結果＞

要支援者を中心とした体操への取り組みを実施。参加者が増えない状況が続いたことや、運動クラブを担当する職員の確保が困難となり 10 月で終了としました。ただし、規模を縮小することで、できる範囲にはなりますが活動の一環として継続できるように努めました。

③ 加算取得の取り組み

＜取り組みと結果＞

栄養アセスメント加算(50単位／月)と、口腔・栄養スクリーニング加算Ⅱ(5単位／6ヶ月)の加算取得ができるように準備を進め、4 月より加算要件の一つである管理栄養士を通所に 1 名配置することで加算取得を開始することができました。

④ 職員の育成

【介護員】

＜結果と課題＞

結果:7 月からリーダーを配置。少ない職員でも工夫しながら日々の業務を行った。

課題:職員数が少なくなったことで、以前のような活動を提供することができなくなった。

【相談員】

＜結果と課題＞

結果:相談員業務全般を覚えて実施することができ、稼働率の意識がついた。

課題:新規の人数が減っている中、外部への宣伝やアピールが足りない。

【看護師】

＜結果と課題＞

結果:看護師として体調面の把握や家族への助言に努めた。

課題:看護業務以外の役割で、個別機能訓練での知識習得などが十分にできなかった。

【作業療法士】

＜結果と課題＞

結果:個別機能訓練や運動クラブを中心となり実施した。

課題:2 月末で産休に入り後任が不在で体制が整わず、3 月から個別機能訓練加算は一時休止となった。

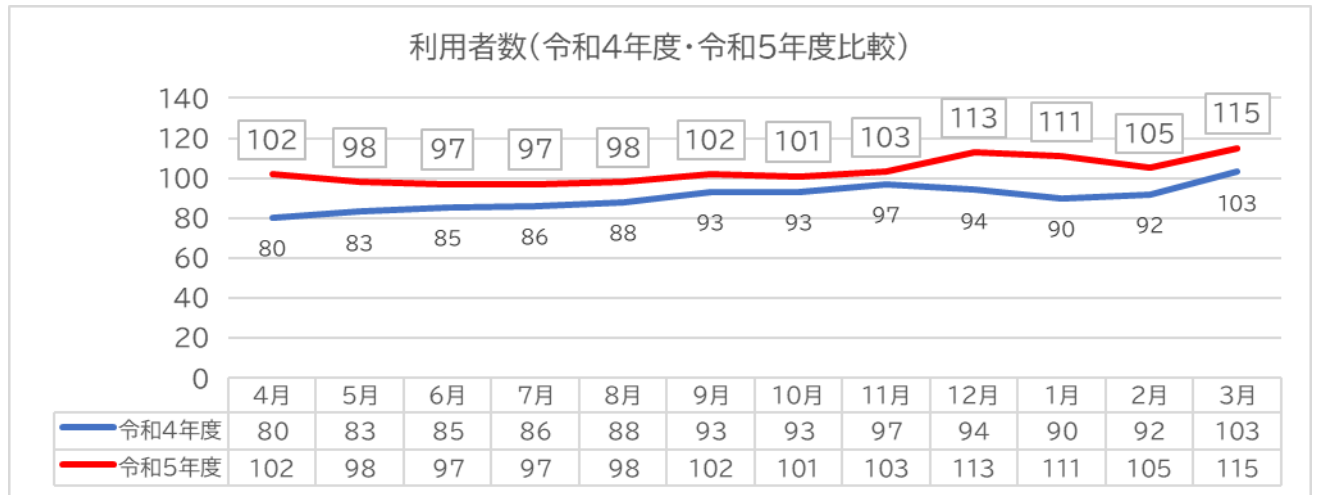
＜全体の振り返りと課題＞

令和 5 年度は利用者の身体状態の低下で介助量が増えてきたこと、介護職員や送迎ドライバーの不足もあり、現状を維持することで精一杯な状況が続きました。12 月以降、コロナ感染のため事業を一時休止したこと、また在宅生活を継続することが難しくなった利用者の利用終了が続いたことで稼働率が急激に下がりました。令和 6 年度は職員の確保とともに新規の受け入れを増やしながら、課題である稼働率を上げていけるように努めてまいります。

(4)居宅介護支援事業所(ケアプランセンター)

① 年間稼働率について

常勤の介護支援専門員 3 名体制(1 名は特養兼務)で事業所担当目標数を上半期 100 名、下半期 110 名とし、実施してまいりましたが、年間の平均利用者数は、上半期平均 75 名、下半期平均 79 名となり、目標に達する事はできませんでした。



② 新規相談件数・契約数・加算取得状況・その他

新規の相談業務については、地域包括支援センターや病院の連携室からの紹介が多く、また、利用者や家族から直接相談をいただくこともありました。

令和 5 年度の新規相談件数は 68 件で、そのうち 59 件の契約をしました。

【令和 5 年度の加算取得状況】

・入院時情報連携加算:37 回	・通院時情報連携加算:0 回
・退院・退所加算:3 回	・特定事業所加算Ⅲ取得(9 月～)

【その他】

・認定調査の受け入れ件数:4 件	・居宅会議開催:51 回
------------------	--------------

《令和 5 年度振り返り》

7 月から特養兼務の介護支援専門員が異動となり、新たに 1 人の介護支援専門員が入職しました。異動に伴う引継ぎや新人職員に対しての育成指導など漏れの無いように進めてまいりました。12 月に介護支援専門員実務者研修の実習生 2 名を受け入れました。初めての取り組みでマニュアル作りやカリキュラムの作成などに時間を要しましたが、実際の指導にあたっては職員同士が協力し合い、無事に 3 日間の実習期間を終えることができました。

2. 感染症防止の取り組み報告

感染委員会の定時開催により、施設内の環境、手洗いの方法、職員の健康管理の在り方、感染症対策等を実施してきました。

① 感染報告

感染名	罹患者	人数	備考
COVID-19 感染 (新型コロナウイルス)	職員	14 名	職員家族 9 世帯
	入居者	0 名	
	短期入所利用者	0 名	
	通所介護利用者	5 名	
インフルエンザ	職員	3 名	職員家族 9 世帯
	入居者	0 名	
	短期入所利用者	0 名	
	通所介護利用者	0 名	
ウイルス性胃腸炎	職員	3 名	

② クラスター発生報告

令和 5 年 12 月 15 日、デイサービス利用者からコロナ感染により職員 3 名、利用者 5 名の感染。また、発熱者が 10 名以上のため、デイサービスを一時休止。12 月 25 日より再開。

③ 予防接種

	実施日	
コロナワクチン	令和 5 年 6 月 4 日(6 回目)	令和 5 年 11 月 19 日(7 回目)
インフルエンザ	令和 5 年 10 月 23 日	

④ 新型コロナウイルス感染症について

【勉強会】

6 月 8 日:感染症発生時の初期対応について

10 月 18 日:感染症(コロナ)BCP について

⑤ 感染制御専門介護養成プログラム

介護職員 2 名 研修修了

【感染予防対策】

◇ 検温:(全職員、入居者) PC に記録して体調管理。手洗い、手指消毒、マスク着用厳守。

◇ 換気(2 時間おき)、加湿器設置(湿度 60%以下は必ず使用)。

◇ 入居者・短期入所の利用者の他科受診や外出(家族)の場合は、施設に帰所した時間から感染予防対策のため、24 時間居室対応。また、受診先で 3 時間以上滞在した場合は、48 時間居室対応。

◇ 感染ダイヤル:担当看護師が、職員が体調不良等の連絡を 24 時間対応。

◇ 面会:平日の午後に予約制で、30 分間の対面式とした。

家族の施設内進入は原則禁止だが、看取りの入居者の面会は居室で可能とした。

3.食事提供状況報告

個々の食べる機能に応じて、食事形態や提供の方法、食事環境など様々な工夫をしながら、好きな物を長く食べ続けられ、かつ健康を維持できるよう多職種と連携し食事支援に取り組みました。また、様々なイベントや行事食を通して食べる楽しみの継続支援に努めました。

〈令和 5 年度食事提供者数〉

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
常食	9	9	11	11	13	13	11	11	12	12	10	11
常食一口大	5	6	6	6	6	7	10	11	11	13	12	11
やわらか食	16	16	16	15	15	13	13	11	11	10	13	14
ソフト食	6	6	7	7	9	10	8	9	8	8	8	8
ペースト食	4	3	2	3	1	2	2	2	2	2	2	2
胃ろう	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
その他	8	8	6	6	4	4	4	5	3	3	4	3

〈令和 5 年度、給食委託業者による、食に関するイベント〉

月	行事食	イベント名
4 月		
5 月	八十八夜、こどもの日、母の日	新茶お茶会
6 月	父の日	ハワイアンフェア
7 月	土用の丑の日	アイスセレクトフェア
8 月		鉄板祭り
9 月	敬老の日、中秋の名月	敬老会
10 月	ハロウィーン	秋祭り
11 月	和食の日	秋の収穫フェアおやつバイキング
12 月	クリスマス、年越しそば	おでんバイキング
1 月	おせち料理、七草、鏡開き	
2 月	節分、バレンタインデー	寿司バイキング、餅つき
3 月	ひなまつり	ケーキバイキング

4. 研修報告

質の高いサービスが提供できるように、内部、外部研修に参加しました。

① 外部研修

集合参加型の研修から zoom や、e ラーニングでの研修が増えてきましたが、外部研修に参加することで必要な知識や技術を学習し、業務に活かせるように努めました。

【主な研修】

- ・介護福祉士指導者講習会
- ・感染制御専門介護養成プログラム
- ・災害時における受援計画作成研修会
- ・喀痰吸引等指導者講習会
- ・高齢者施設等 感染症・結核研修会
- ・介護支援専門員更新研修Ⅰ

② 内部研修報告(職員主催)

	研修名	日付		研修名	日付
1	施設規定について (副施設長、事務長)	4月17日 4月19日	8	令和4年度事故・ヒヤリハット件 数報告、服薬介助等 (事故防止委員会)	10月12日 10月26日
2	事故発生時の報告、介護記 録とリスク管理 (事故防止委員長)	5月19日	9	BCP マニュアルについて (感染対策委員会)	10月18日
3	移乗介助(リハビリ職員)	5月11日 5月24日	10	口腔ケアの適切な方法について (きらら歯科 歯科医師)	11月15日
4	感染症の対応を考える (感染委員長)	6月8日	11	ベッド上でのポジショニングに ついて (褥瘡委員会)	11月22日 11月30日
5	食事にかかわる衛生管理に ついて (管理栄養士)	6月21日	12	食事における感染症対策 (管理栄養士)	11月29日
6	BCP 作成に当たり (防災委員会)	8月23日 8月29日	13	看取り介護について (看護師)	3月6日
7	身体拘束について (身体拘束対策委員会)	9月25日	14	スピーチロックについて (身体拘束対策委員会)	3月14日
8	ハラスメント (身体拘束対策委員会)	9月28日	15	高齢者虐待について (身体拘束対策委員会)	3月27日

5. 委員会活動報告

委員会開催状況

委員会・会議名	開催	内 容
代表者委員会	12 回	毎月の稼働・財務報告。各事業所の報告、新型コロナ感染予防のため情報共有と対応について検討。
リーダー会議	12 回	各ユニット運営をするために、ユニット内の問題点や業務改善についての話し合い。
事故対策委員会	12 回	毎月ヒヤリハット、事故件数の報告を基に情報共有。委員会で分析、話し合った対応策を各部署へ報告。
ユニットケア推進委員会	8 回	業務内容やケアの質について話し合い、業務内容の変更。
栄養委員会	12 回	行事食やイベント食、職員食についての報告。食事提供や衛生管理の見直し、ミールラウンドについて。
行事委員会	12 回	秋祭り・敬老の日・クリスマス会等年間行事の主催。 イベントの振り返り、各クラブ活動の日程調整と実施状況の報告。
感染対策委員会	12 回	新型コロナ感染症予防のため、日常の衛生管理、対応方法についての見直しと実施。年間の感染症報告。BCP 作成、勉強会開催。
褥瘡予防委員会	12 回	オムツ・パッド類の適正使用について、褥瘡マネジメント計画の見直し・作成。
防災委員会	11 回	総合避難訓練 6 月 4 日（日中）、令和 5 年 12 月 5 日（夜間）の実施。 消火器・消火用散水栓の場所確認。BCP 作成、勉強会の開催。
身体拘束委員会	12 回	身体拘束の定義を再確認。不適切ケアについての話し合い。勉強会の開催。※令和 6 年度より 2 ヶ月に 1 回に変更。
ハラスメント	3 回	勉強会の開催、ハラスメントの対策について検討。 ※令和 6 年度より 3 ヶ月に 1 回に変更。
虐待防止委員会	1 回	指針、マニュアルの見直し ※令和 6 年度より月 1 回開催に変更。
入所判定委員会	6 回	第 55 回、第 56 回、第 57 回、第 58 回、第 59 回、第 60 回
第三者委員会	1 回	令和 5 年度の事故報告・クレーム・苦情の検証。 (令和 6 年 2 月 29 日開催)

6. 年間行事・レクリエーション活動の報告

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染が第 5 類になったため、感染予防をしながら、外出の機会を設けました。

① 特別養護老人ホームの年間行事・レクリエーション活動の報告

月	行事名等	具体的な内容
4 月	外出	イオンタウンに行き、買物後におやつを召し上がって頂いた。
5 月	フラワーアレンジメント	母の日のアレンジメントとして、カーネーションを中心に製作しました。職員、入居者ともに楽しみながら行いました。
6 月	外出	イオンタウンに行き、買物をした。
7 月	昼食作り	入居者に調理に参加してもらい、お好み焼き、別日にはカレーを作り召し上がって頂いた。
8 月	誕生日会	ユニット合同でおやつ作り、別のユニットでは昼食に入居者の好きなマグロ丼を作り、誕生日を祝った。
9 月	外出 敬老会	守谷市商工会祭りに参加した。 敬老の方に記念品を贈呈しました。
10 月	おやつ作り	ユニットごとにケーキや、さつま芋を調理して召し上がって頂いた。
11 月	外出 焼き芋	笠間稲荷神社に行き、菊展を見学した。 玄関前で外気に触れながら焼き芋を召し上がって頂いた。
12 月	フラワーアレンジメント 昼食作り	生花を見て触れて香りを感じて頂き、アレンジメントを作成して頂いた。 さつま芋ご飯、豚汁、カニクリームコロッケなどを調理して召し上がって頂いた。
1 月	新宴会	三味線、民謡を聞いて頂き、楽しんで頂いた。
2 月	餅つき	入居者の前で餅つきを行った。入居者には餅ではなく、厨房で調理した物を召し上がって頂いた。
3 月	昼食作り	入居者に調理に参加してもらい、牛丼作り召し上がって頂いた。

② 短期入所生活介護の年間行事報告

月	行事名	具体的な内容
4 月	おやつ作り	利用者に調理に参加してもらい、チヂミを作り召し上がって頂いた。
5 月	外出 おやつ作り	成田山新勝寺にお参りに出かけ、仲見世通りを散策した。 利用者に調理に参加してもらい、生どら焼き、別日にはフレンチトーストを作り召し上がって頂いた。
6 月	かき氷 昼食作り	かき氷(白くま)と一緒に作り、召し上がって頂いた。 利用者に調理に参加してもらい、松花堂弁当を作り召し上がって頂いた。
7 月	外出 昼食作り	水海道で開催された野外上映会に出かけた。 利用者に調理に参加してもらい、夏野菜カレーを作り召し上がって頂いた。

8 月	球技大会	ボーリング、玉入れ、ボール渡しなど、身体を動かすレクリエーションを実施した。
9 月	外出 おやつ作り	大洗水族館まで外出をした。 利用者に調理に参加してもらい、おはぎを作り召し上がって頂いた。
10 月	おやつ作り	利用者に調理に参加してもらい、パンケーキを作り召し上がって頂いた。
11 月	外出	笠間稲荷神社に行き、菊展を見学した。
12 月	おやつ作り	利用者に調理に参加してもらい、チョコバナナパフェを作り召し上がって頂いた。
1 月	昼食作り	利用者に調理に参加してもらい、三種類の鍋を作り召し上がって頂いた。
2 月	昼食作り	利用者に調理に参加してもらい、松花堂弁当を作り召し上がって頂いた。
3 月	おやつ作り	利用者に調理に参加してもらい、クッキーを作り召し上がって頂いた。

③ 通所介護の年間行事報告

月	行事名	具体的な内容
4 月	外出 フラワーアレンジメント	あけぼの山公園に外出。季節の花に直接触れて頂き、楽しみながら作って頂いた。作品は自宅に持ち帰って頂いた。
5 月	外出 テイクアウトイベント	成田山新勝寺にお参りに出かけ、仲見世通りを散策した。 希望者を募り、蕎麦を注文して召し上がって頂いた。
6 月	フラワーアレンジメント テイクアウトイベント	季節の花に直接触れて頂き、楽しみながら作って頂いた。作品は自宅に持ち帰って頂いた。 希望者を募り、蕎麦を注文して召し上がって頂いた。
7 月	ミニ夏祭り	ミニゲームを開催、おやつ会では屋台風のおやつを召し上がって頂いた。
8 月	テイクアウトイベント 喫茶店	利用者から今年も鰻を頼んでほしいと希望があり、注文して召し上がって頂いた。 飲み物やパフェの種類を多く用意し、召し上がって頂いた。
9 月	昼食作り 敬老会	そうめん、ちらし寿司を調理して召し上がって頂いた。 職員の余興やビンゴ大会を楽しまれた。
10 月	フラワーアレンジメント	季節の花に直接触れて頂き、楽しみながら作って頂いた。作品は自宅に持ち帰って頂いた。
11 月	外出	笠間稲荷神社に行き、菊展を見学した。
12 月	クリスマス会	クリスマス会を予定していたが、コロナ感染のため中止。代わりに職員による手品、ビンゴ大会を実施し、楽しまれた。
1 月	新年会	新年会、ビンゴ大会を実施し、楽しまれた。
2 月	ゲーム大会	ゲーム大会はチーム形式で実施することで、利用者間での交流機会を持つことができた。
3 月	外出	守谷、取手市内をドライブし、桜を見てきました。

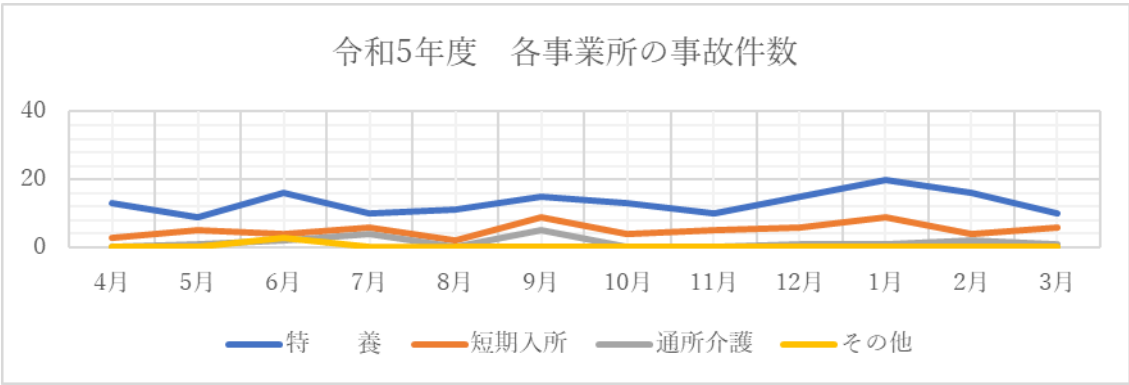
7. リスクマネジメントへの取り組み

毎月、事故防止対策委員会を開催し、事故に対する要因、改善策等の在り方、マニュアル等を随時見直しながら再発防止や、委員会で検討した内容を各職員に周知することを努めてきました。

(1) 事故発生状況報告

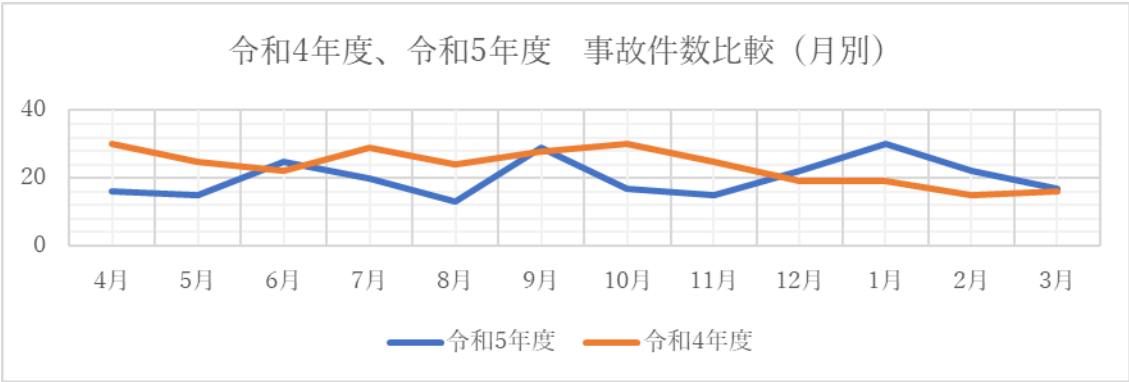
① 月別発生件数

各事業所別



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特 養	13	9	16	10	11	15	13	10	15	20	16	10	158
短期入所	3	5	4	6	2	9	4	5	6	9	4	6	63
通所介護	0	1	2	4	0	5	0	0	1	1	2	1	17
その他	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

令和 4 年度、令和 5 年度 事故件数比較(月別)



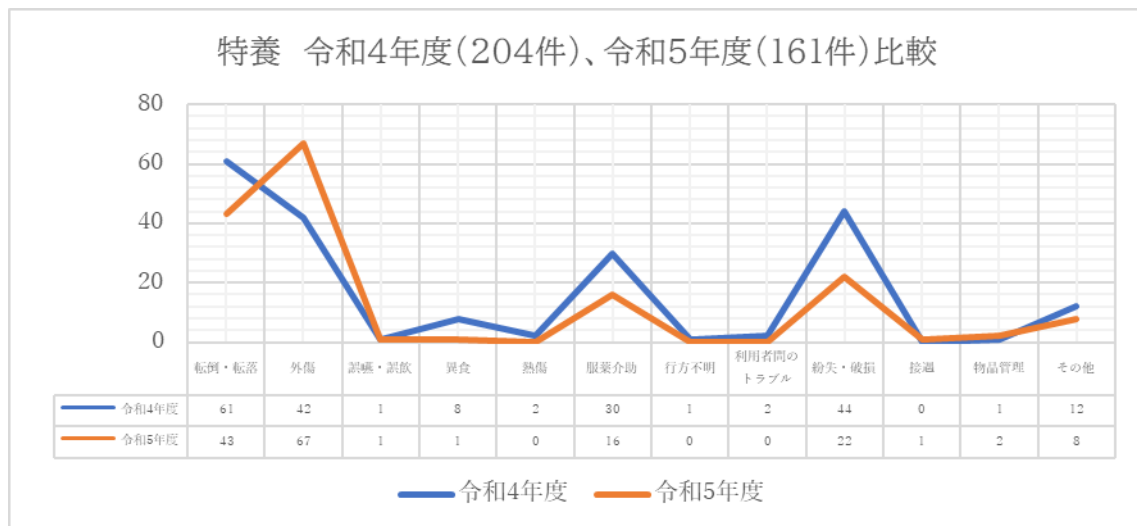
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	16	15	25	20	13	29	17	15	22	30	22	17	241
令和 4 年度	30	25	22	29	24	28	30	25	19	19	15	16	282

②事故の内容別件数

	特養	短期入所	通所介護	その他	合計
転倒・転落	43	34	11	0	88
外傷	67	3	0	0	70
誤嚥・誤飲	1	1	0	0	2
異食	1	1	0	0	2
熱傷	0	0	0	0	0
服薬介助	16	12	0	0	28
行方不明	0	0	0	0	0
利用者間のトラブル	0	1	0	0	1
紛失・破損	22	6	2	0	30
接遇	1	1	0	0	2
物品管理	2	1	2	0	5
その他	5	3	2	3	13
合計	158	63	17	3	241

③考察

○特別養護老人ホーム



《転倒・転落》

転倒・転落事故の件数は前年度より18件の減少。43件中、受診3件(3件いずれも検査の結果、異常なし)。令和4年度に転倒リスクのあった入居者のADLが低下し、歩行介助から車椅子移動介助となったため転倒リスクが減ったことで全体件数が減ったと考えられます。

※令和 5 年度の転倒・転落に至るヒヤリハット 137 件

「薬関係の事故」

前年度と比較すると 14 件の減少。令和 4 年度に改善内容としていたことが減少に繋がったと考えられます。

※改善内容

- ・服薬介助後・下膳する時・食器を洗う前等に薬箱内を確認する。
- ・下剤忘れを防ぐため、排泄チェック表を使用して申し送りをする。
- ・服薬介助が途中の場合、職員がフロアを離れる時に誰の薬が残っているか伝える。

「外傷」

前年度より、15 件の増加。高齢者は皮膚トラブルのリスクが高い方が多く(皮膚が弱いこと、内服薬の影響)、処置が必要な剥離もありましたが、皮下出血ができていたため事故として報告を上げた結果の件数となっています。

※皮下出血のヒヤリと事故の目安

事故:500 円玉くらい(直径 26.5 mm)

ヒヤリ:500 円玉以下

◇保険者への報告:なし

○短期入所生活介護



「転倒・転落」

転倒・転落事故の件数は前年度より 8 件の増加(令和 5 年度の転倒・転落に至るヒヤリハット全件数 19 件)。増加した要因として、利用者の下肢筋力の低下、体調不良時に転倒、車椅子からの転落が増えていたことが考えられます。対応策として、体調に合わせた対応(フロアに近い居室に変更、見守りや介助)と離床センサーの活用を行いました。

◇保険者への報告:2 件(転倒による骨折 2 件)

○通所介護



令和 5 年度全体の事故件数は令和 4 年度と同数になっていますが、転倒・転落事故が 11 件と令和 4 年度より 3 件増えていました。(令和 5 年度の転倒・転落に至るヒヤリハット全件数 31 件)

椅子から立ち上がり方向転換をする際にバランスを崩した、床に落とした物を拾う時に椅子に浅く座っていたために転落した、帰宅時に靴を履き替える際に立った状態のまま靴を履き替えていたなど、日常生活動作で比較的自立している利用者が転倒や転落していることがありました。事故後は、事故に至った原因に対しての改善策を講じており再発防止を行っています。

◇保険者への報告

なし

◇全体の振り返り

令和 5 年度全体の事故件数は減少になりました。改善策で再発防止ができていることもありますが、特養で皮下出血を繰り返し起こしてしまう事故もありました。皮膚トラブルを予防するために毎日保湿剤を使用すること、特に弱い入居者には腕・足の持ち方を工夫すること、皮膚を保護するカバーを使用するなど対応を行い、家族には皮膚トラブルについて説明して了解を得ていますが、完全に防ぐことはできていません。今後も再発予防に繋がるようにケアを行ってまいります。また、入居者、利用者のリスク把握や管理を行いながら、委員会の運営に努めてまいります。